

# 愛媛県の地震

2022年（令和4年）4月

## 目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（4月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（4月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（4月）	2
5. 地震一口メモ 6月15日（水）は緊急地震速報の訓練に 参加しましょう	3

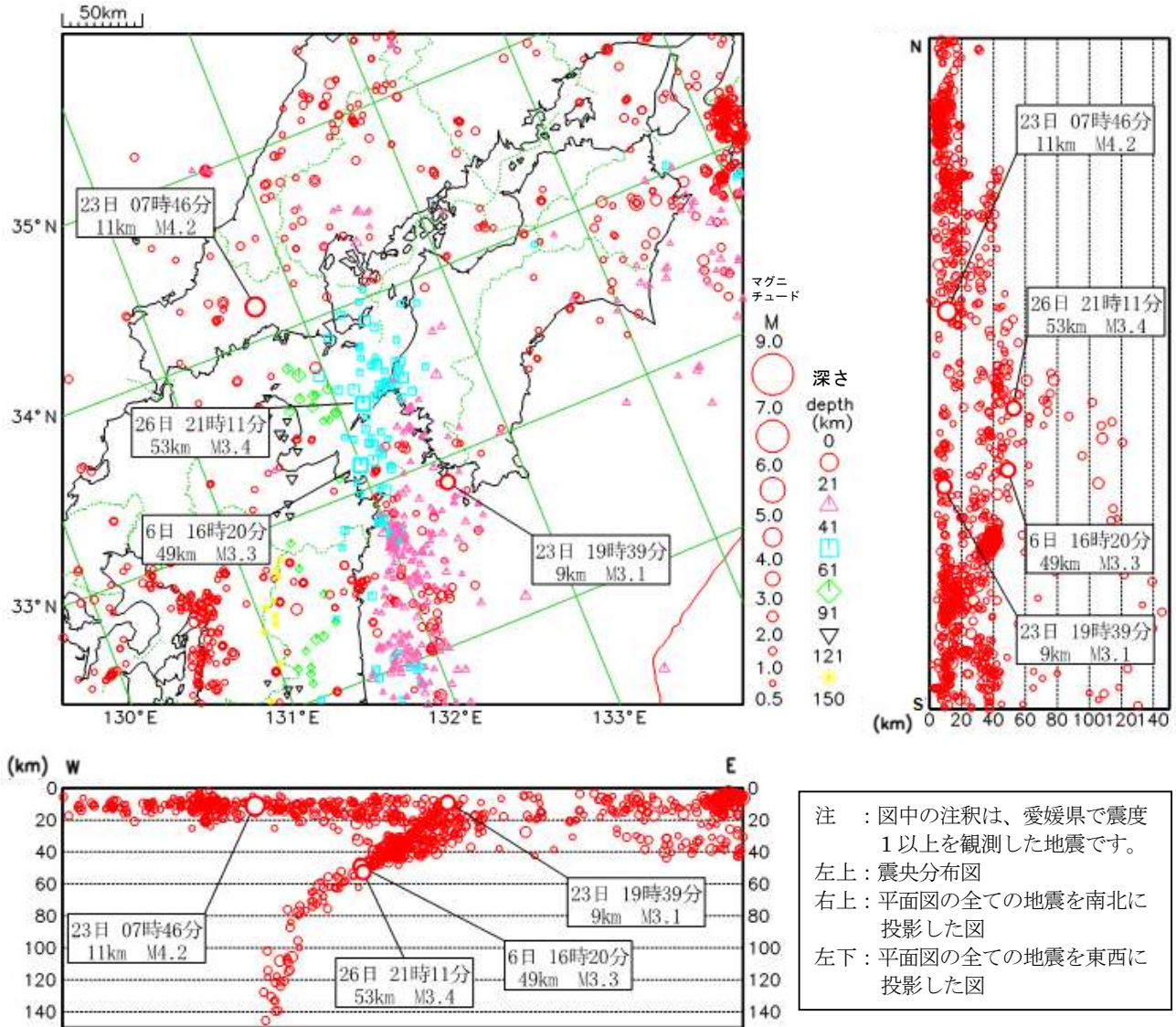
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

# 1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2022年4月1日～4月30日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

## 2. 地震概況（4月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は73回（先月は84回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は4回（先月は1回）でした。

6日16時20分 豊後水道の地震（深さ49km、M3.3）により、愛媛県西予市、大分県豊後大野市で震度1を観測しました。

23日07時46分 山口県中部の地震（深さ11km、M4.2）により、愛媛県今治市・松山市・伊予市で震度1を観測したほか、中国・九州地方で震度3～1を観測しました。

23日19時39分 豊後水道の地震（深さ9km、M3.1）により、愛媛県愛南町で震度1を観測しました。

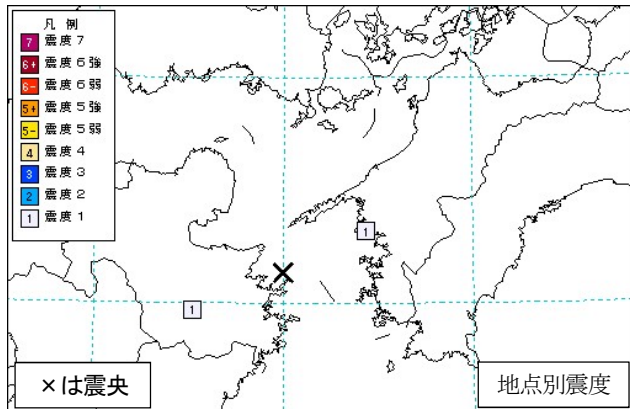
26日21時11分 伊予灘の地震（深さ53km、M3.4）により、愛媛県宇和島市・八幡浜市・西予市で震度1を観測しました。

### 3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（4月）

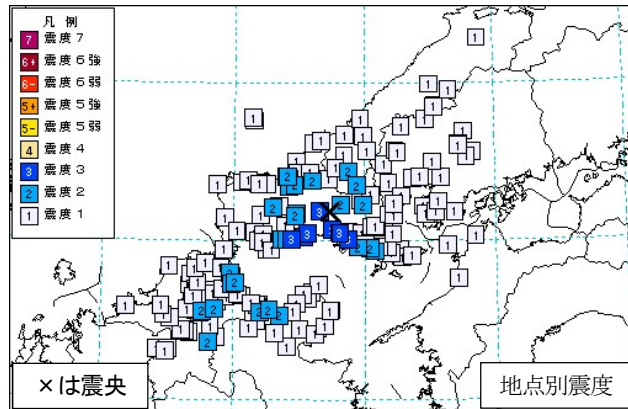
震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2022年04月06日16時20分	豊後水道	33°08.1' N	131°59.9' E	49km	M3.3	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：西予市明浜町*					
-----						
2022年04月23日07時46分	山口県中部	34°11.0' N	131°43.9' E	11km	M4.2	最大震度3
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：今治市菊間町*,松山市中島大浦*,伊予市下吾川*					
-----						
2022年04月23日19時39分	豊後水道	32°52.0' N	132°29.7' E	9km	M3.1	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：愛南町船越*					
-----						
2022年04月26日21時11分	伊予灘	33°27.2' N	132°10.0' E	53km	M3.4	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県	震度 1：宇和島市丸穂*,宇和島市三間町*,八幡浜市保内町*,西予市三瓶町*,西予市明浜町*					

注：\*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

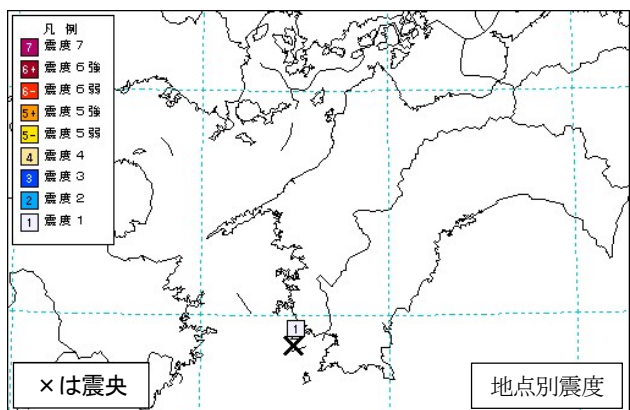
### 4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（4月）



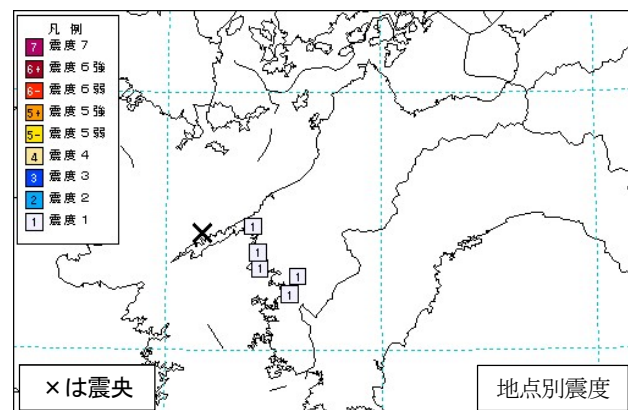
4月6日16時20分 豊後水道



4月23日07時46分 山口県中部



4月23日19時39分 豊後水道



4月26日21時11分 伊予灘



## 5. 地震一口メモ

### 6月15日（水）は緊急地震速報の訓練に参加しましょう

○来月の6月15日（水）は緊急地震速報の訓練が実施されます。

緊急地震速報は、地震の発生直後、強い揺れが来ることを可能な限り素早く知らせる情報のことです。最近では1月22日の日向灘の地震で高知県内全域に緊急地震速報を発表しました。突然の音に驚いて、何をすれば良いかわからず茫然としてしまった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。訓練をすることで、そのような突然の事態の場合もとっさの対応ができるようになります。

緊急地震速報を聞いたときの基本行動は「あわてず、まず身の安全を守る」ことです。具体的には周囲の状況に応じて下図のような対応をとってください。



気象庁リーフレット「緊急地震速報」より

この機会を利用して日頃からの備えも確認してみてください。

強い揺れに見舞われると、家具の落下や、転倒、ガラスの破損などが起きることが想定されます。緊急地震速報を見聞きしても、これらの危険に対する備えができていなければ身の安全を守ることはできません。日頃から地震への備えを心がけると共に、室内の安全な場所を把握しておきましょう。また、携帯電話、スマートフォンをお持ちの方は緊急地震速報が発表された際に音が鳴る設定になっているか等をご確認ください。

緊急地震速報を活用した訓練に参加し、とっさに身を守る行動について学び、日ごろからの備えを改めて見直してみてもいいかもしれません。

訓練の詳細・方法は以下をご参照下さい。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/kunren/kunren.html>